

刊 夕
行發日十三月九
(刊休日翌日祭曜日)

農民文藝としての市川健次

一、農民文藝發展の必然性
藝術が何らかの形式に據る農民に青年たちには明ら

高月旬抄

萩の茶屋借賃の日の續きけり
萩咲くや下にせら、く溪の聲
明けかたに降る雨白ふ萩葉し

拈華微笑

お子さんの為晩
酌の定量を削減
拈つて拈つた手
白馬の雪、山古、無いが百兩

立秋 (童話詩)

原田小太郎
あかりを入れて
村の家
障子が明るく
なりました



女長兵衛

東京 斯波南史
(魚崎潮書)
(二八)
喜助は涙片手に身の來歴

一日一禪
無可嫌著眼界平
不然秋意心直

象通報 告知事項
一、〇〇〇 象通報
二、〇〇〇 象通報

象通報 告知事項
一、〇〇〇 象通報
二、〇〇〇 象通報
三、〇〇〇 象通報

ラヂオ
一日一禪
無可嫌著眼界平

増田耳鼻咽喉科
増田耳鼻咽喉科
増田耳鼻咽喉科

象通報 告知事項
一、〇〇〇 象通報
二、〇〇〇 象通報

吉田眼科病院
平町紺屋町
吉田眼科病院

行興別特期秋開公篇名の界世間日六りよ日一月十

鳥
赤穂士一番槍
夜一ひらく
鳥

度量衡計量器
吸入用酸素
吸入用酸素

時 代
(牛馬) 語 警 代 時
○藝術家は世を知ると共に世の動かす處とな

時 代
(牛馬) 語 警 代 時
○藝術家は世を知ると共に世の動かす處とな

時 代
(牛馬) 語 警 代 時
○藝術家は世を知ると共に世の動かす處とな

時 代
(牛馬) 語 警 代 時
○藝術家は世を知ると共に世の動かす處とな

時 代
(牛馬) 語 警 代 時
○藝術家は世を知ると共に世の動かす處とな

時 代
(牛馬) 語 警 代 時
○藝術家は世を知ると共に世の動かす處とな

時 代
(牛馬) 語 警 代 時
○藝術家は世を知ると共に世の動かす處とな

